



議会だより

雪とつろみ
吹き飛ばす
ぽく。

おもな内容

12月定例会	2
一般質問（7人）	4
委員会活動報告	13
議会報告会・意見交換会	15
どっこい、この町に生きる	16

小規模企業振興に関する条例制定の要望を採択

議会が採択したことにより、町は条例制定に向け誠実に処理することが求められます。

要望書(要旨)

小規模企業は、就業機会の提供、地域経済の安定、地域住民の生活の向上など地域の経済基盤と社会基盤を支える存在です。その重要性を踏まえ、平成26年6月27日に小規模企業振興基本法が公布されました。この法律には地方公共団体においても小規模企業振興に関する施策を策定・実施する責務が明記されています。

日南町においても、小規模企業対策の一層の推進を図るため、「小規模事業者の事業の持続的発展」や「小規模企業政策に関する基本計画の策定」等を盛り込んだ小規模企業振興に関する条例の制定をお願いします。

日南町商工会長

◆小規模企業振興に言及した条例を制定している県内市町村

市町村名	条例名	施行日
鳥取市	鳥取市中小企業・小規模企業振興条例	平成29年4月
北栄町	北栄町中小企業・小規模企業振興基本条例	平成30年4月
湯梨浜町	湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例	平成30年10月
琴浦町	琴浦町中小企業・小規模企業振興基本条例	平成31年4月
大山町	大山町中小企業・小規模企業振興基本条例	平成31年4月
米子市	米子市中小企業振興条例	令和2年4月

議決したおもな議案

美術品等取得基金条例の廃止

美術館の美術品及び美術に関する資料取得の基金条例を廃止する。

※これまで基金で購入した美術品は31点(購入額501万円)

林業総合センターの設置及び管理に関する条例の廃止
施設を日南町森林組合に譲渡したため廃止する。

印鑑条例の一部改正

住民票等証明書のコピー二交付を開始するために必要な改正

国民健康保険税条例の一部改正

①国民健康保険税の減額
個人所得課税の見直しに伴う軽減判定所得基準の見直し
②公的年金等の所得に係る国民健康保険税の課税の特例
軽減判定所得基準の見直しに合わせた規定の整備

一般会計補正予算

◆庁舎管理事務

空調・電気設備の設計業務及び非常用電力確保設計業務委託費
(650万円)

◆電算管理運営事務

コロナ禍対応として、オンライン会議用ワークブスの設置及び会議用備品の購入
(492万円)

◆集落営農支援事業

今年度予定していた4地区の事業実績に伴う減額と新規2地区の事業追加による増額
(706万円)

◆林業一般管理事務

令和元年度に交付された森林環境譲与税の事業充当残額を、日南町森林整備基金に積み立てる。
(1229万円)

◆農地中間管理事業

対象地域の変更及び集積面積の増加による増額
(1471万円)

◆農道等維持管理事業

農道維持工事の実績見込みによる増額
(500万円)

◆道路維持管理事業

町道維持工事及び舗装修繕工事の実績見込みによる増額
(3400万円)

◆鳥獣被害対策事業

・イノシシ等の当初捕獲見込み頭数(イノシシ500頭、シカ15頭、ヌートリア5頭)に対し捕獲頭数増加による捕獲奨励金の増額
(108万円)
・猟期間中のイノシシ捕獲に対する補助事業実施による増額
(107万円)



500頭以上の捕獲が見込まれるイノシシ

簡易水道事業会計補正予算

県工事に係る白谷及び多里地区簡易水道支障移転工事
(1565万円)

日南病院事業会計補正予算

発熱外来診察室用の簡易陰圧装置購入
(295万円)



日南病院に導入する簡易陰圧装置

第9回臨時会

11月25日

◆特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆職員の給与に関する条例の一部改正

◆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

特別職職員、一般職職員及び議会議員の期末手当を0.05ヶ月分引き下げる。会計年度任用職員については、今年度中は引き下げない。

問 セントラルファーム農場の 汚水流出問題

答 異常事態の感覚を持っている



大西 保 議員

問 日南町の魅力発信、 観光戦略は

答 フェノロジーカレンダーを
活用し推進する



櫃田洋一 議員

※フェノロジーカレンダーとは、地域の自然と人の営みを表した「生活季節暦」

- 問** セントラルファーム農場
からの汚水流出問題
- 11月13日の朝に今までに見たことのない汚水が、農場の下流の小原川に流出していた。14日には町長も現地を確認された。その後どのような対応をされたのか。
- 答** 中村町長
- 河川の状況から水質検査を実施し、併せて施設の老朽化が明らかであるので、社長との面談を緊急に要請した。
- 問** 水質悪化の要因は
- この度の水質悪化の要因は何か。状況を把握しているか。
- 答** 町長
- 稲作を終了する10月から浄化施設で酵素を使用して、アンモニウム性窒素を下げる取り組みを試験的に開始していた。その後濁りや泡の通報が増加していることから酵素投入との因果関係を調査する。例月の水質検査の項目にアンモニウム性窒素の項目を追加して推移を見守る。
- 問** アンモニウム性窒素
- 水質汚濁防止法に基づく一般排水基準の全窒素含有量120㎖であるが、国のアンモニウム性窒素

- 問** 観光協会
- 一般社団法人日南町観光協会（以下、観光協会）と企画課の関わりは。
- 答** 中村町長
- 社団法人であるので、観光協会の中で整理されるが、委託事業なので予算的な調整や事業の本身は企画課と連携。
- 問** 事務所移転
- 道の駅等も考えられるが、移転にむけてのポイントは。
- 答** 町長
- 町の正面玄関に位置づけられること。スペース的な広さ、駐車場などを考慮し検討中。
- 問** 旅行業資格
- 昨年度取得されたが、どのように活用されるか。
- 答** 町長
- 地域限定型であるが、生山駅発着、米子空港を利用する限られた条件の中でツアーを組むことが可能。
- 問** 魅力発信
- 紅葉の名所として石霞溪公園

- 答** 浅田住民課長
- アンモニウム性窒素の基準値はなかったと思う。
- 問** 稲作に影響する数値は
- アンモニウム性窒素が稲作に影響を及ぼす数値はいくらなのか。
- 答** 住民課長
- アンモニウム性窒素も全窒素の一部なので、数値が高ければ同じように影響すると思う。
- 問** 重大な水質悪化に
なっていると思うか
- 町長は、昨年度地元への回答文書で、「水質汚濁防止法に抵触する数値になるなど、重大な水質悪化を招く事態が発生した場合」には、鳥取県に通報します。その場合は行政処分になります。とあるが現状を見てどう思うか。
- 問** 重大な水質悪化に
なっていると思うか
- 町長は、昨年度地元への回答文書で、「水質汚濁防止法に抵触する数値になるなど、重大な水質悪化を招く事態が発生した場合」には、鳥取県に通報します。その場合は行政処分になります。とあるが現状を見てどう思うか。



濁りと泡の状況 R2.12.16



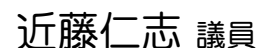
魅力ある日南町の紅葉

- 問** 観光戦略
- 魅力を感じる顧客に正対することが必要であるが、どのようにターゲットを絞っているか。
- 答** 企画課長
- 資源によってターゲット層は異なるので明確なターゲット層を設けての戦略は持ち合わせていない。
- 問** 企業課長
- 具体的な目標を掲げるとともに、ある程度の絞り込み、それに応じた広報、情報発信も大事になるのでフェノロジーカレンダーの整理と共に注力したい。
- 問** 鳥取県と日南町の対応
- 西部総合事務所と日野振興センターを訪問し、聞き取りを行ったが、対応は日南町がすべきとの回答であった。町の対応は。
- 答** 町長
- 異常事態の感覚を持っている。
- 問** 保護指針策定メンバーに
調査依頼している
- 来年度、オオサンショウウオの保護指針策定メンバーに小原川の調査を依頼される考えは。
- 答** 町長
- 保護指針策定メンバーによる調査の必要性はないと思っている。
- 問** 意見交換会の開催は
- 「河川の水質悪化に関する意見交換会」が、令和2年1月31日以降開催されていないが、今後の予定は。
- 答** 町長
- 濁りや泡の通報増加を受けて、12月後半の開催を準備するよう指示した。

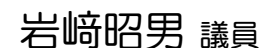


雪景色も美しい石霞溪公園

答 改善提案もなされた適切な内容である



答 支援が必要な案件は
個別に対応する



問 ごみ処理広域化の住民説明会を

答 西部広域で開催すべき



岡本健三 議員

問 コロナ禍だからこそ、一人ひとりの子どもに寄りそう教育を

答 学校、保護者、地域が連携してより良い教育をすすめる



久代安敏 議員

答 町長

ごみ発電による売電が広域化後の可燃ごみ処理施設のコスト削減に大きく寄与している。これを民間の会社が運営すれば売電額の増加を求めるため、ごみの減量化と逆行するのでは。

問 ごみ発電

西部広域の枠組みで必要に応じて説明会を開催すべき。ただし、地球温暖化、環境汚染等の課題については町の環境審議会

答 町長

16年前の方針決定後、地球温暖化や廃プラの環境汚染など状況が大きく変わった。また、ごみ問題は住民一人ひとりの問題であるので住民説明会を開催する必要がありますのでは。

問 住民説明会の開催を

広域化の方針が決まったのは平成16年7月の西部広域行政管理組合の規約改正によって、広域化の計画は平成13年に策定され、平成16年7月の規約改正によって方針が定まった。

答 中村町長

広域化の方針が決まったのは平成16年7月の西部広域行政管理組合の規約改正によって、広域化の計画は平成13年に策定され、平成16年7月の規約改正によって方針が定まった。

問 ごみ処理広域化方針

一斉の臨時休校や消毒作業、学校行事の縮小、学習活動の制限など子どもたちや学校現場に影響があったと考えている。子どもたち一人ひとりに寄り添い理解して、指導や支援を行う必要がある。保護者や地域の協力

答 教育長

政府が科学的根拠のないまま、全国一斉の休校要請を行い、学校現場が混乱し、校長をはじめ教職員が一人ひとりの子どもと向き合うゆとりが乏しかったのではないか。

問 問題の原因

10月9日、高学年児童数名が鍵のかかった教室に侵入し出入口にバリケードを作り、窓からごみ箱等を中庭に投げ落とす事案が発生した。危険と判断し、校長が外部応援者に連絡、該当児童の保護者へ連絡し児童と保護者と一緒に校長の話を聞く。12日の朝、全校集会で全児童へ説明、13日に臨時PTA総会を開き、今回の事案と学校の現状、今後の取り組みについて説明を行った。

答 伊田教育長

日南小学校の生徒指導事案の説明を求める。

問 学校教育

新年度から、にちなん保育園を教育委員会に移行する計画のめざす中身は。

問 にちなん保育園

教職員や保護者、地域の意識改革や地理的環境を生かして「オールにちなん」としてどう機能させていくのか等の課題がある。

答 教育長

令和4年度からコミュニティ・スクール制度を始める計画があるが、学校の負担が増えないか。

問 コミュニティ・スクール



日南小学校の中庭

を得ながら、関係機関や専門家等とも連携を図り、取り組んでいきたい。

現時点での国保税の違いは課題である。統一に向けて具体的に議論する必要がある。

答 町長

国民健康保険税（国保税）を県下で統一しようとの動きがあるが、現状で国保税が低い市町村は反対では。

問 国民健康保険税の統一



広域化対象の可燃ごみ処理施設

妙案はない。方針を決めた以上実現に向けて用地を確保する。

答 町長

県東部では訴訟もあり用地確保に18年間かかっている。実現へ妙案があるか。

問 用地確保

可燃ごみ処理はごみを燃やすのが目的であり、売電は2次的なものである。

他の市町村の担当者に聞いたがそこまでは考えていないとのことだった。県の運営方針策定の連携会議などで提案していく。

答 浅田住民課長

18歳以下の子どもの均等割減免にどのように取組んでいるか。

問 子どもの均等割減免

全国で国保会計は赤字であり、また今後医療費が上がれば国保税も上がる。したがって国の財源投入はありがたいが、これからの議論である。

答 町長

国保税の負担を協会けんぽ並みにするため国費1兆円の投入を知事会が提言している。町としてもこれを求めている。

問 国費1兆円の投入は

医療費を下げることは大切だが、ほかに被保険者数を多くすることでも国保税を下げられる。

答 町長

統一により国保税が各市町村の医療費に関係なく決められると、医療費削減の努力が報われない。なくなるのでは。

問 医療費への影響

西部町村会で方向性を研究・協議している。県下の議員報酬改定議論の状況を確認しながら次期議会改選期を想定したスケジュールを持って具体的な協議を進めていく。

答 町長

鳥取県西部特別職等報酬審議会の最終答申が発表されて2年。日南町議会は、日南町独自の報酬審議会を設置されるよう要望しているが。

問 議員報酬審議会

次の選挙を実施する際に広報や立候補者説明会等で説明していく。

答 中村町長

次の町議選から立候補者は供託金15万円が必要となるが、広報されていない。

問 公職選挙法の一部改正

委員会に移管し、保・小・中一貫教育の更なる推進を図りたい。特に、一貫教育の柱ともなるふるさと教育の推進や教育と保育の連携強化という視点からの幼児教育の充実、教職員・保育士の連携強化等を進めていきたい。そのためには、教育環境整備や教職員・保育士の研修等の充実を図り、質の高い保育・教育を目指していきたい。

12月定例会可決した議案

令和2年度補正予算	一般会計補正予算（第9号）	その他	日野町江府町日南町衛生施設組合規約を変更する協議について	
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		鳥取県西部広域行政管理組合の共同処理事務及び規約を変更する協議について	
	介護保険特別会計補正予算（第3号）		鳥取県町村総合事務組合の規約を変更する協議について	
	介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	○賛否の分かれたもの		
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）			
	簡易水道事業会計補正予算（第2号）			
	病院事業会計補正予算（第4号）	鳥取県西部広域行政管理組合の共同処理事務及び規約を変更する協議について	可決	
一般会計補正予算（第10号）	賛成 古都勝人議員 人口減少の中、境港市が加わり一体化して費用負担していくことは大切である。実現するのは十数年先でありその間に議論を深めていけば良い。 (大西、古都、荒木、檀田、岩崎、近藤、坪倉)	反対 久代安敏議員 それぞれの自治体が出したごみは、最終処分まで責任を持ってやるのが基本。西部広域全体で進めることに無理がある。 (岡本、久代)		
条例の廃止	日南町美術品等取得基金条例			
	日南町林業総合センターの設置及び管理に関する条例			
条例の一部改正	日南町印鑑条例			
	日南町督促手数料及び延滞金徴収条例等			
	日南町国民健康保険税条例			

請願および陳情の審査結果と討論

提出のあった請願と陳情は、12月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。なお、賛成・反対とあるのは、請願と陳情の原案に対する討論と採決の結果です。

令和2年請願第5号	提出者	審査意見	本会議
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての請願	沖縄と連帯するのとつとりの会 共同代表 石田 正義 一盛 真英司 伊藤 英司	全国知事会の提言による日米地位協定の抜本的見直しについては十分に理解できるが、日本の安全保障に係る問題であり慎重に取り組むべきである。	趣旨採択
〔賛成〕 近藤仁志議員 同盟国とは不平、不満がくすぶる関係であってはならない。それを甘受し続けることは関係悪化の要因になりかねない。日米関係をより強固にするためには見直しが必要であり、改定に向けた取り組みに賛同する。 （岡本、近藤、久代、坪倉）		〔反対〕 大西保議員 沖縄の41市町村の中で7議会しか採択していない。当事者であれば、8割、9割欲しい。採択がゼロの県も19ある。東アジアの安全を考えた時、中国の緊張がある。日本の安全保障は沖縄に米軍基地があるから守られている。趣旨は理解できるが意見書提出は必要ない。 （大西、古都、荒木、櫃田、岩崎）	

令和2年陳情第5号	提出者	審査意見	本会議
小規模企業振興に関する条例の制定の要望について	日南町商工会 会長 天崎 直幸	日南町の小規模企業対策をより一層推進するため、条例の制定は必要である。	採択

町政のここが聞きたい

一般質問と答

問 農業の将来ビジョン 実現の具体策は

答 全体計画を作り できるところから取り組む



坪倉勝幸 議員

- 問** ビジョンの意義

平成22年に策定された「日南町の農業の将来ビジョン」を検証、修正する形で「日南町農業の将来ビジョン」を策定されたが、ビジョンの意義は。
- 答** 梅林農業委員会会長

今回のビジョンは稲作等の土地利用型農業の維持に重点を置いている。
- 問** 農業委員会としての取り組み

ビジョンの実現のために農業委員会として、また農業委員、農地利用最適化推進委員としてどう取り組まれるのか。
- 答** 農業委員会会長

担い手への農地利用の集積・集約化など農地等の利用の最適化や、農林課と連携しながら人・農地プランを中心に取り組んでいく。
- 問** 町政への位置づけ

町政におけるビジョンの意義と位置づけは。
- 答** 中村町長

日南町農業の課題をより深堀りして明示していることに意義があり、総合計画と同様に目指すべき目標として位置づける。
- 問** 具体的方策

具体的な方策は。

- 答** 町長

基本的には整備を進める必要性を感じている。農機具の大型化に対応する再整備。水田の畑地化も含めて地域の動きの中で現場感覚をもつて進める。
- 問** 来年度の予算編成方針

来年度予算編成の基本的な考え及び重点は何か。
- 答** 町長

引き続き「まち・ひと・しごと創生」を施策の柱としながら、事業を構築する。施策の選択と集中により「事業の推進」と「財政の健全化」の両立を図る。
- 問** 施策の選択と集中

施策の選択と集中にはどう取り組むのか。
- 答** 町長

スクラップできるものは多く考え方もある。将来への投資に繋がる施策に重点を置きたい。
- 問** 行財政改革との整合

行財政改革計画に盛り込まれた項目の実現をどう図っていくのか。
- 答** 町長

個別推進項目管理表を用いて各課で取り組む。予算査定にも反映する。
- 問** 公約の実現

町長就任時の公約である健康診断率80%、ふるさと納税1億円、結婚件数50件を達成するための施策は。
- 答** 町長

掲げた目標は継続する。目標の達成は厳しいが、引き続き努力する。



白谷地区の圃場整備

- 問** 基盤整備

ビジョンに触れられている基盤整備を進める必要があるが、町としてどう取り組むのか。
- 答** 町長

引き続き「まち・ひと・しごと創生」を施策の柱としながら、事業を構築する。施策の選択と集中により「事業の推進」と「財政の健全化」の両立を図る。

総務教育常任委員会

－12月10日－

保小中一貫教育について（教育課）

- ◆機構改革(教育委員会への保育園移管)について
保育園の事務的な職務は教育委員会に移管する。
- ◆日南町の子ども教育在り方検討会の状況について
これまでに4回開催しており、第5回を12月19日に行い12月下旬には答申をする予定である。
- ◆コミュニティ・スクールの説明会の状況について
6月以降、各地域、保小中教職員、保護者、民生委員などオールにちなんで熟議し、延べ442名の参加があった。
12月にCS準備委員会について協議を行った。

経済福祉常任委員会

－12月11日－

道路維持管理事業(建設課)

- ◆令和2年度道路維持工事の入札状況、道路維持巡回チェックシートを活用した対応の調査。
- ◆地域から要望は、コロナ感染症対策で書面申請に変更。件数は減ったが特に必要の多いところが提出される傾向であった。
- ◆除雪体制については、町所有除雪車30台、業者借り上げ19台、県貸与14台、合計63台による除雪を計画。
【委員会意見】
除雪作業の無事故と、構造物等破損した場合の適切な処理を行い、町民のライフラインの確保を望む。

日南大建（株）防腐防蟻単板生産施設及び木材団地造成工事 現地調査(農林課)

- ◆令和2年11月2日起動式が執り行われた防腐・防蟻処理工場視察
今後、令和3年1月防腐・防蟻LVL材製造、試験販売。AQ認証（優良木質建材等認証）申請し4月には取得、AQ認証品として販売開始。
- ◆令和2年10月着工した木材団地拡張造成工事進捗状況調査
令和3年度日南大建がLVL不燃処理製造施設、DWファイバー製造施設の整備を予定。



防腐・防蟻処理設備

【委員会意見】

木材総合カスケード利用事業の確立と更なる発展を望む。

中心地域整備に関する調査特別委員会

－11月25日－

令和2年11月6日、鳥取西部農協より、施設の継続使用の要望書が町長と日南町議会に提出されたことを受け、町長に進捗状況の説明を求めました。

- 問 要望書を提出した組合長と詰めた交渉をすべきではないか。
- 答 鳥取西部農協に施設の購入をしてほしいと要望しているが、施設所有者(プレカット)との交渉があるのでもう少し時間がほしい。
- 問 太陽光発電パネル設置に当たり、町への申入れ文書等があるのか。
- 答 要望書、契約書はない。当時の町の責任者から口頭で同意を得ているとプレカットから聞いている。



プレカット上屋に設置されている太陽光パネル

中心地域に位置する日南プレカット協同組合への貸付地(1936㎡)は、令和3年3月31日までが期限となっています。

12月定例会

もつとくわしく 質疑応答

不燃ごみ事務の共同処理

問 現在の西部広域の規約ではどのように定められているのか。

答 事務の共同処理から「境港市が設置するリサイクルプラザ建設事業に係る不燃物中間処理施設を除く」と定められている。

問 不燃ごみ処理の事務の共同処理ができなければ基本構想案が進まないということか。

答 不燃ごみ処理の事務の共同処理ができなくても可燃ごみ処理の集約は進めていく。

サージカルマスク再配布

問 いつ頃どうやって行うのか。

答 令和2年12月末までに全戸配布する。予算は7月の補正で可決している。保育園、小中学校には終業式までに配布する。

タウンスネット電柱調査

問 強度調査ということか。そうである。

問 光化工事が終わりにかけている時点での強度調査は順序が逆ではないか。

答 工事と調査を並行して実施している。

問 調査費用は補助事業の対象とならないのか。

答 対象外である。

介護保険特別会計への繰り出し

問 繰出し減額の主な内容は。また、約4分の1の減額だがなぜか。

答 介護保険者努力支援交付金196万6千円増額による一般会計から特別会計への繰出しの減額である。一般財源だったものを国庫の補助金へと財源振替した。

ナラ枯れ

問 全体の被害面積と今回の対策の単価は。

答 いずれも把握していない。

問 撮影した航空写真から詳しい情報を把握すべきでは。

答 航空レーザーを使っている点で詳しい情報は分からない。

問 委託事業と補助事業の違いは何か。

答 補助事業は伐採事業、委託事業は薬剤処理である。別の樹種を植えるのか。新植はしない。自然萌芽させる。

問 菌の駆除はしないのか。しない。若木は発病しないので若木へと更新する。



印賀、折渡付近のナラ枯れ被害

小中学校用ネット回線

問 どういう事業か。今まで鳥教ネットを使っていたがつながりに

くかった。町単独で回線契約して安定した環境をつくる。

問 既存のネット回線を使えないのか。

答 町のネット回線を入れていくが一斉に使用すると通信速度が遅い。

問 遅くなる原因が見極められていないのでは。

答 企画課と調査する。

美術品管理

問 美術品の処分や売却の基準、要綱などあるか。

答 公共財産、文化資源なので原則、売却や処分は行なわない。

問 どういった基準で31点を購入したのか。

答 クレパス画を中心に平成25年～29年に美術品選定評価委員会を選定して購入した。

国保人間ドック

問 対象者数と受診者数は。

答 対象者数343人、受診者数36人。通常検診は6月からだがコロナの影響で7月からになった。このような数字となった。

日南病院の訴訟費用

問 町が被告なので病院事業会計でなく一般会計から支出すべきでは。

答 病院には法人格がないので町を被告としたと思われる。訴訟の内容と経緯から病院事業会計とした。

新型コロナウイルス包括支援交付金

問 病院への交付金額は確定額か。

答 内容によって締切が9月～11月まであり段階的に交付された。今回が全体の確定額である。

ひとり親世帯臨時交付金

問 対象の世帯数は。15世帯である。

成人式PCR検査

問 検査はいつするのか。前日と前々日に実施する。

問 成人式でするドライブスルー検査、通常の屋内検査それぞれ1日何検体実施できるか。

答 ドライブスルー検査15検体、屋内検査3検体である。

11月21日 議会報告会&意見交換会を開催

総合文化センター
多目的ホール



議会報告会・意見交換会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
例年開催しています「議会報告会・意見交換会」は11月に全町を対象に開催しましたが、この会とは別に議員が3班に分かれ、小丸太組合・商工会・農業法人等の方々と意見交換会を実施しました。
いただいた貴重なご意見は、議会日より報告します。

議長 山本 芳昭

全員協議会

- ◆11月10日
海外派遣事業
今年度予定していた小中学生の海外派遣事業は、新型コロナウイルス感染症拡大のために中止すること。
- ◆公職選挙法の改正
公職選挙法改正により選挙公営の範囲が広がったことについて協議。
・執行部で町民の意見募集を行う。
・議会では意見交換会などにより、町民の意見を聞いた上で引き続き協議。
- ◆庁舎空調設備更新事業
空調設備の老朽化に伴い、資源エネルギー庁の補助金を使い来年度に更新工事を行う。そのため設計を今年度実施すること。
- ◆民間財産の譲り受け
鳥取西部農協より阿毘縁会館の一部である旧阿毘縁支所部分を無償で譲り受けることに。
- ◆11月25日
新型コロナウイルス感染症にかかる経済対策
- ◆集合税の廃止
自治体業務の統一、標準化を進める観点から町税の納期を現在の10期を8期納付にすることなど
- ◆佐武賞授賞式
佐武賞を授賞されたみなさん
- ◆海外派遣事業
国の交付金を活用する町の対策事業の事業実績の精査と今後の計画について協議。
- ◆機構改革
保・小・中一貫教育をより充実するために、3年度から保育園を教育委員会の所管にすることについて協議。
- ◆財産の譲り受け
(一財)佐武会の解散に伴い、美術品、現金、土地などの残余財産を贈与するとの申し出について協議。



佐武賞を授賞されたみなさん

- ◆鳥取県西部行政管理局
の説明を受け、協議。
- ◆鳥取県西部行政管理局
合規約の変更
西部広域の不燃物処理施設業務に境港市が加わることに伴う規約の一部を改正するもの。
- ◆日野町江府町日南町衛生施設組合規約の変更
江府町役場の所在が変わることに伴う、3町施設組合の事務所位置を変更するもの。
- ◆12月15日
日南町議会情報端末機器使用規程の一部改正
議員に貸与しているタブレットの破損に係る弁償規程を変更。
- ◆3年度議会予算
令和3年度の議会費当初予算案について協議。
- ◆中海テレビ放送の日南町議会関係報道
中海テレビで12月9日から放送された日南町議会の一般質問における答弁要旨の公開に関する報道に対して、(株)中海テレビ放送に意見交換を求め、ことを決定。

日野郡町議会議員 研修会 11月6日

日野郡内の行政の共通課題に対応するために、各町の議会議員が一堂に会して研修し、研鑽を積むために毎年行っている研修会です。本年度は、日南町総合文化センターにおいて開催しました。

講演(演題)
「住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みづくり」
「地域づくり・地域磨きを進めよう」

講師
鳥取県日野振興センター
中山間地域振興リーダー
川上 宏氏

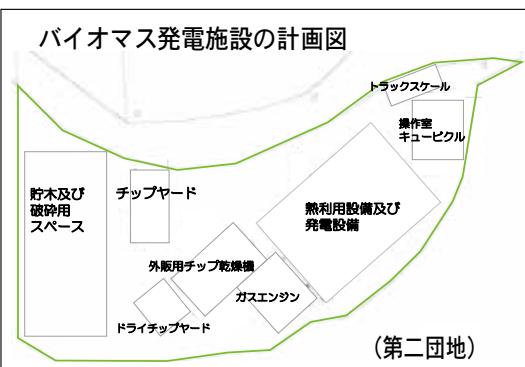
中山間地域振興に長く関わっておられる川上リーダーから、鳥取県中山間地域研究センターでの研究をベースに日野郡内の実情をふまえた地域づくりについて講演を拝聴しました。

議会活動報告

- (10月)
23日 意見交換会(小丸太組合)
28日 意見交換会(商工会)
- (11月)
4日 意見交換会(日野郡中山間農ネットワーク協議会)
6日 日野郡町議会議員研修会
10日 全員協議会
13日 鳥取県日野町議会議員研修会
21日 臨時議会
25日 中心地域整備に関する調査特別委員会
30日 全員協議会
議会運営委員会
- (12月)
8日 12月定例会本会議
9日 12月定例会本会議
10日 総務教育常任委員会
11日 経済福祉常任委員会
15日 12月定例会本会議
全員協議会
議会広報常任委員会
25日 議会広報常任委員会
8日 議会広報常任委員会
14日 議会広報常任委員会
19日 全員協議会

- ◆町民の参加者は15人で、活発な意見交換会でした。
会場での発言内容を項目ごとに紹介します。
- ◆セントラル農場の汚水
年数が経ち、排水の水質問題など、いろんなことが起こっている。議会も熱心に取り組んでいるが、解決していない。
排水処理施設の改善と協定締結を提案しており、社長と直接話すことになった。
- ◆かすみ荘
かすみ荘の建て替えが必要ではないか。今年の冬季入所はあかねの郷3床と聞く。今後の対応はどうなのか。
かすみ荘の活用・建て替えはまだ議論していない。ひだまりの家の活用もある。
- ◆中心地域貸付
貸付地の今後の活用の進み具合はどうなのか。
来年3月末の契約期限が迫っている。今後の活用について特別委員会、町長に決断を求めている。

- ◆学校教育
議員は、学校に行つて意見を聞いているか。また、小学校の事故で警察を導入したことは理解できない。
8月3日に委員会として学校訪問をし、破損等の箇所の点検と教育委員会、学校幹部との意見交換を行った。
スクールサポーターに相談し決断したこと。
- ◆日南病院
病院は是非残してほしいが、議会はどうか考えるのか。PCR検査は1日1回なのか。
町民のみなさんと一緒に病院を守る。
検査機は4台、内1台は日野病院に貸し出している。検査は1日3検体。
- ◆ホームページ
町のホームページに「ちゃんねる日南」の情報発信してどうか。
扱う音楽、登場人物の著作権で難しい。議会中継は問題がない。
- ◆観光協会
観光協会はどうか動きか、業務内容の整理



- ◆バイオマス発電
地元説明会が開かれたが、業者の健全性が分からない。町有地を貸し付けるので経営計画をしっかりとチェックしてもらいたい。
中国電力の買い取り価格は、20年間40円だが、その後はどうなるのか。
議会でも勉強会をして経営に関する資料があるので委員会などで調査検討する。

道 どっこい、この町に生きる 草

にちなん議会だより

令和3年1月発行 第162号

ホームページ
http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/1/15/2/発行/日南町議会 編集/議会広報常任委員会 印刷/富士印刷
〒689-5292 鳥取県日南町霞800
電話:(0859) 82-1900 FAX:(0859) 82-1131

生徒の成長は感動であり 羨ましくもある

小田 健二さん（多里）
おだ けんじ



日南町に来られるまでは

生まれは長崎だけど、大学進学を機会に神奈川に引越し、卒業後は関東圏の外資系ホテルに勤務して、レストランを造ったり、宿泊の備品など調達したりと楽しい職場でした。

なぜ、馴染みのない林業に関心を

神奈川県は水源涵養のため林業の若手を育てる活動をやっていて、趣味の山登りの途中で伐採する姿や、機械を動かしている研修の現場を見る機会があり、こんな仕事もあるのだなあと興味を持ったのが最初です。早速、神奈川森林塾の説明会に参加、その中で「林業はこれから伐採期に入るので面白いかもしれないよ」と言われ、興味が増しました。

それからの行動は

山の事が頭から離れない時期を過ごし、他県の林業ガイダンスにも足を運び、奥多摩や山梨の方も見たけどピンときませんでした。

そんな時、植林から市場への搬出の体制ができてるのは中国山地が盛んだと聞き、選択肢に鳥取

県が芽生えました。 なぜ、日南町を

情報を得るため「ふるさと回帰センター」に登録して、ハガキをいただいていたので浅草の鳥取県のブースに立ち寄り、日南町の農林業研修制度を知りました。3年くらい探していたので、林業だけでなく日南町にちよつと来てみないかとウエルカムのな雰囲気があるって研修生に応募を決めました。

どんな将来を描いていましたか

自伐型林業ができたらと考えていた頃、林業アカデミーができるので手伝ってみないかと話をいただき、林業に何らかの形で携わりたい気持ちが強かったため、産業振興センターに就職しました。

仕事の内容は

事務仕事メインで、現場は写真を撮って活動記録の作成や、生徒が分散して研修するので目配りしての安全対応。あと、小中学生の森林教育のサポートなどです。

今の仕事のやりがいは

生徒の成長を肌で感じる時ですね。仕事のスピードが速くなり、

木を倒す方向も理解でき、技術が向上する姿は感動しますし、自分も素人から入ったので羨ましい面もあります。それと志を持った人が入学するのを迎えるのも、大きな喜びです。

将来設計は

妻も川崎市で仕事を辞める気配はないし、私も日南町に長くいて町に恩返ししたいので、今のところ二重生活も悪くないと思ってます。

インタビューを受けた感想は

こうした話をする機会はいいなあと感じました。



森林教室に参加された米子市内の学童保育のみなさんと

編集後記

明けましておめでとござい
ます。

昨年はコロナ禍に始まりコロナ禍で終わった一年でした。

今年度の「みんなの人権・小地域懇談会」のテーマは「コロナ禍に考える感染症と人権」でありました。ウイルスの3つの顔、①病気そのもの ②病気への不安と恐怖 ③差別、偏見、忌避。

感染者はもとより、その家族、医療関係者や県外者などへの差別と偏見がニュースでも報じられています。

幸いにも、私たち町民は、「小地域懇談会」での学習という強力なワクチンを接種しています。町内で感染者が発生してもワクチンの効果が発揮され、人と人の信頼関係が侵されず崩れないものと信じています。

岩崎昭男 記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長	檀田 洋一
副委員長	岩崎 昭男
委員	岡本 健三
委員	近藤 仁志
委員	久代 安敏
委員	坪倉 勝幸

議会および議会だよりについて、ご意見をお寄せください。 メールアドレス/s0800@town.nichinan.lg.jp